

# 2018年12月期 決算説明資料

株式会社 船場

証券コード：6540

2019年3月1日

## 2018年12月期 決算説明資料

### I. 企業概要 及び 事業概況

### II. 中期経営計画

### III. 当期決算の状況 及び 来期の見通し

# I

## 企業概要 及び 事業概況

# 企業概要

# サクセスパートナー

私たちは商環境の創造を通じて  
社会の繁栄に貢献します。

## クライアントの目指す「サクセス」を共有し、実現する

商環境の繁栄



モノ・コトを楽しむ  
生活の充足感

## 『商環境』づくりをトータルにサポート 商業施設づくりで培われた「ソフト力」が価値の源泉



ワクワクドキドキする空間を  
“具現化させる”

**構想力**

人・街・自然を  
“親和させる”

**設計力**  
(デザインワーク)

信頼できる品質を  
“実現させる”

**施工力**

## アジア全域に海外拠点を展開、グローバルに価値を共創

### 上海

SEMBA [SHANGHAI] CO.,LTD.  
(2006年設立)

### ベトナム／ハノイ

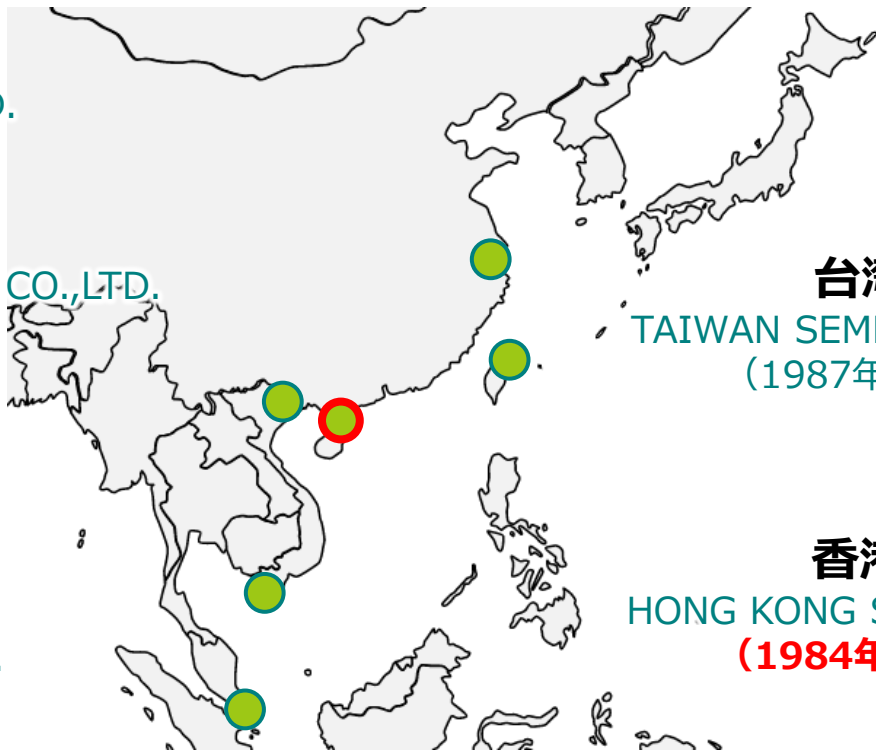
HANOI BRANCH OF SEMBA VIETNAM CO.,LTD.  
(2015年設立)

### ベトナム／ホーチミン

SEMBA VIETNAM CO.,LTD.  
(2013年設立)

### シンガポール

SEMBA SINGAPORE PTE.LTD.  
(1990年設立)



### 台湾

TAIWAN SEMBA CO.,LTD.  
(1987年設立)

### 香港

HONG KONG SEMBA LTD.  
(1984年設立)



## 「商環境」創造力が発揮される事業領域は、増々拡大

「商環境」の領域は  
国内外でさらに拡大



活躍する「創造」領域は  
さらに多様化

# 当期の事業概況

**国内では特定分野の顧客における投資抑制、  
および競争激しいマーケット環境の影響を受け、収益が減少**

## 収益減少の主な要因

**国内の流通・小売業界の従来顧客における投資抑制  
(ナショナルチェーン、GMSなど)**

**競争環境激化に伴う利幅減少  
(外注比率の高い案件増加など)**

## 都市部の施設・店舗、流通・小売業界外の事業領域で受注は増加 海外では大型プロジェクトが相次ぎ開業

### 受注増となった主な分野

都市部大型施設（駅前施設、再開発施設など）

飲食店舗（都心部及び郊外）

サービス業種（ブライダル、スポーツクラブなど）

教育分野（高校、大学など）

その他（ミュージアムショップ、イベントなど）

海外プロジェクト（ショッピングセンターなど）

## 都市部大型施設（駅前施設、再開発施設など）



テラスモール湘南：2018年4月グランドリニューアル

- **テラスモール湘南**  
（JR辻堂駅・SC / リニューアル）
- **グランエミオ所沢**  
（西武所沢駅・駅直結複合施設）
- **八王子OPA**  
（八王子駅・駅直結商業施設）
- **日本橋高島屋S.C.**  
（再開発事業）

など

## 飲食店舗（都心部及び郊外）

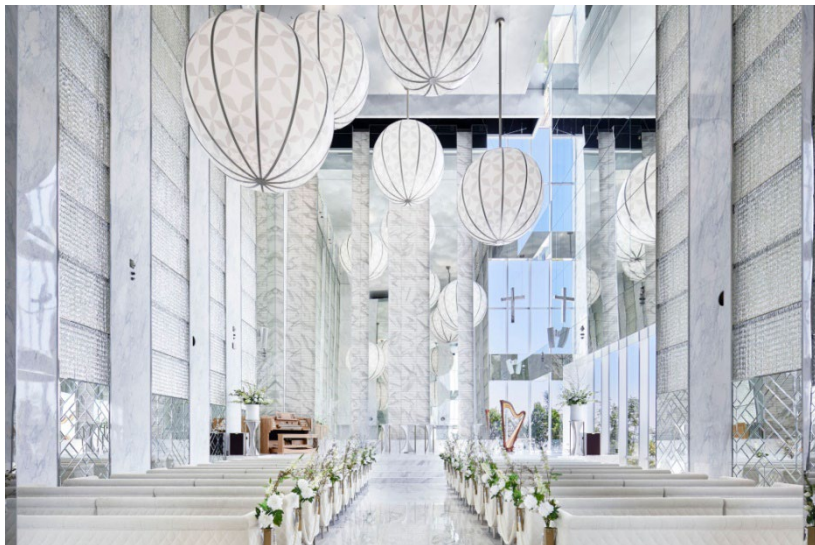


KOI The表参道店：2018年11月オープン

- **KOI The表参道店**  
(タピオカ / 日本初)
- **添好運 (Tim Ho Wan) 日比谷店**  
(香港点心 / 日本初)
- **タリーズコーヒー各店**  
(観光地：江ノ電江ノ島店)  
(公園内：富士市中央公園店)
- **いきなり！ステーキ各店**

など

## サービス業種（ブライダル、スポーツクラブなど）



ノートルダム大阪ONE：2018年7月開業

- ・ **ノートルダム大阪ONE**  
（ブライダル施設）
- ・ **CONQUESTジアウトレット広島**  
（輸入車ディーラー）
- ・ **エグザス なかもず**  
（コナミスポーツ新業態）
- ・ **イオンスポーツクラブ各店**

など

## 教育分野（高校、大学など）



角川ドワンゴ学園N高等学校：2018年4月開校

- **角川ドワンゴ学園N高等学校**  
(横浜キャンパス他 / 通信制高校)
- **京都府立医科大学食堂**  
(学食 / リニューアル)
- **鹿児島女子短期大学 学生支援課**  
(学生支援センター / リニューアル)
- **とよた子育て総合支援センター**  
(子育て支援施設 / リニューアル)

など



## その他（ミュージアムショップ、イベントなど）

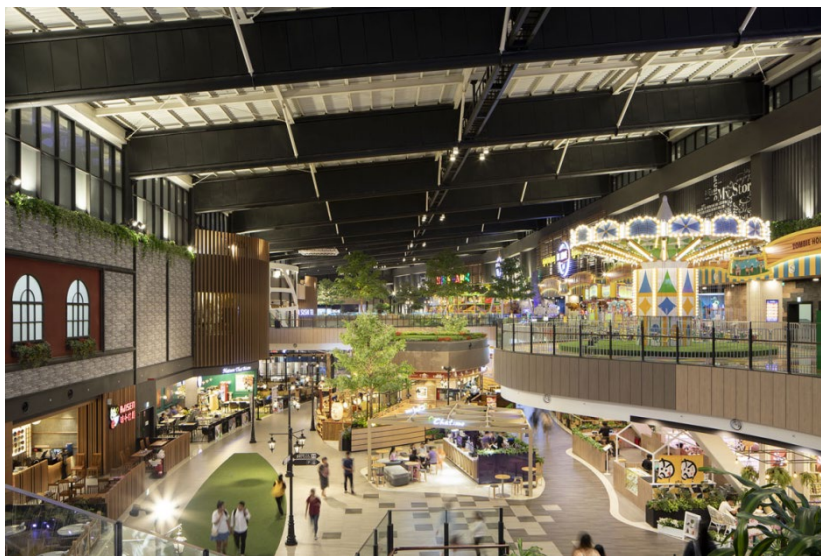


TRAINIART 鉄道博物館店：2018年7月オープン

- **TRAINIART 鉄道博物館店**  
（ミュージアムショップ）
- **二俣川献血ルーム**
- **宝塚北サービスエリア**  
（宝塚北スマートIC / 西日本最大規模）
- **LUMINE AGRI MARCHE**  
（地産地消マルシェイベント）

など

## 海外プロジェクト（ショッピングセンターなど）



AEON MALL Sen Sok City : 2018年5月オープン

- **AEON MALL Sen Sok City**  
(カンボジアプノンペン・大型SC)
- **Breeze南山店「atre」**  
(台湾台北市・都市型SC / 海外1号店)
- **Izumiya Supermarket**  
(中国蘇州市)
- **成都伊勢丹 ISETAN Supermarket**  
(中国成都市)

など

# 今後の事業概況

大型プロジェクトの業務推進を継続するとともに  
創造力が求められるフィールドへの取り組みを拡大

国内外の大型プロジェクトの業務推進

多様な分野への積極的な事業拡大

## 海外

シンガポール

複合型専門店

大型専門店

ベトナム

ショッピングセンター

- ・日系デベロッパー
- ・現地デベロッパー

上海

専門店

エンターテイメント

## 国内

百貨店  
(リニューアル)

大型専門店

GMS  
(リニューアル)

大型商業施設

駅前商業施設

大型商業施設

駅前再開発  
複合施設

大型商業施設  
(リニューアル)

大学・高校・保育園

病院

高速サービスエリア

冠婚葬祭場

オフィス・ショールーム

ホテル

公園・まちづくり

郵便局

# Ⅱ

## 中期経営計画

<2019年12月期～2021年12月期>

スローガン

## Brand-new SEMBA

改革に向けて「新たな組織体制」を構築

収益構造改革

I 注力分野に対する深耕と新たな事業創造への挑戦

II 海外戦略の拡大

III 生産性向上の追求

# 企業価値の向上（企業ブランドの確立）

## I 注力分野に対する深耕と新たな事業創造への挑戦



### ◆ ビジネス拡大に向けた取り組みを加速させる。

#### 【ZERO事業本部を新設】

注力事業の拡大及び育成を目的に、成長戦略実行部隊を新設

- ・ 成長エンジンとしての役割を担い、新しいビジネスチャンスにも挑戦
- ・ 各事業本部、グループ会社と連携して事業拡大



## <収益構造改革>

### Ⅱ 海外戦略の拡大

#### ◆グループ全体で海外案件の受注拡大を目指す。

- ・海外市場への企画構想力の発信
- ・海外戦略に関わる社員を増強  
（「グローバル人財」業界ナンバーワン）
- ・海外現地パートナーとのネットワーク強化  
（事業基盤の拡充）
- ・海外什器生産及び施工受注の拡大



新・壺中天 ～桃源編～：2018年8月～11月開催

## <収益構造改革>

### Ⅲ 生産性向上の追求

### コスト改革

#### ◆価格競争力の向上と納品力強化を実現する。

##### 【競争力向上の追求】

- ・ 獲得物件及び発注先の選定等による利益向上
- ・ 協力企業との事業シナジー創出

##### 【納品力の更なる強化】

- ・ 自社工場と協力企業群の体制整備



## <収益構造改革>

Ⅲ 生産性向上の追求

働き方改革

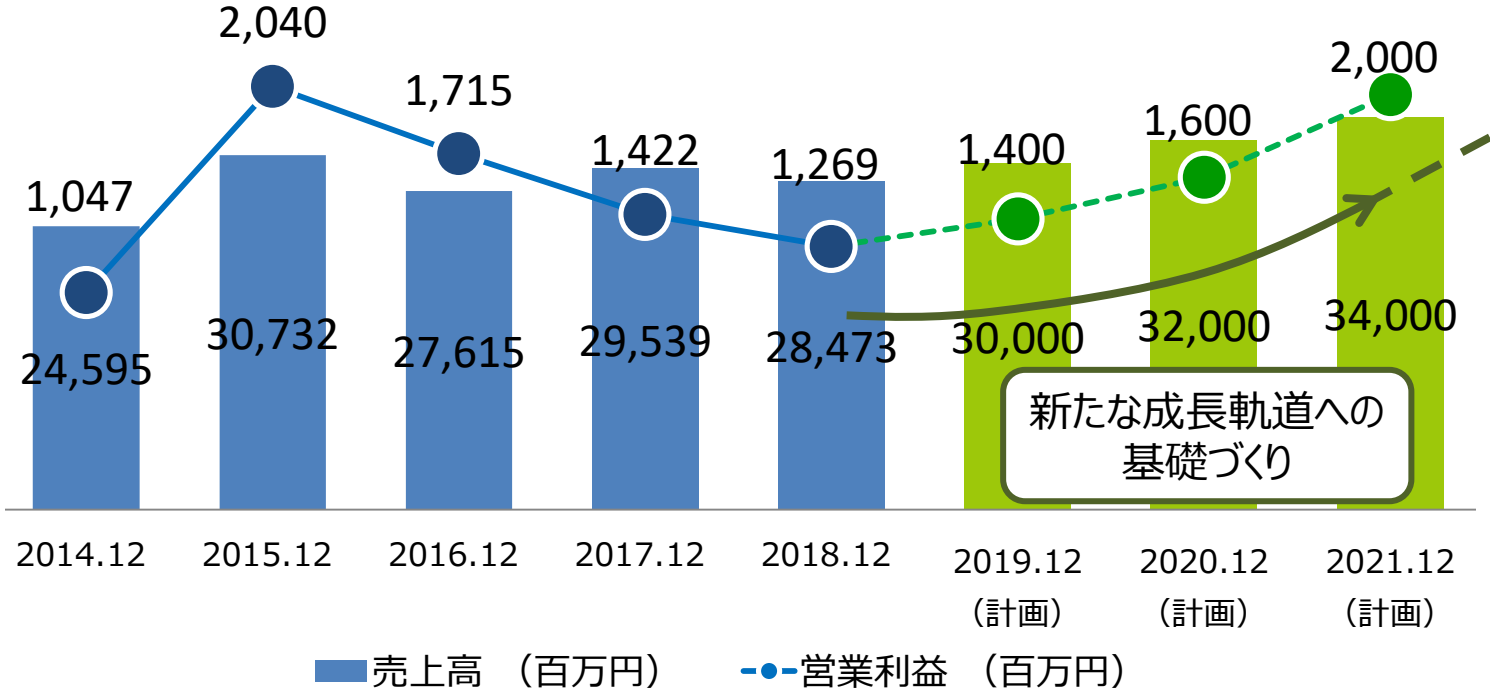
# 2019年『働きがい元年』

## 働きがい 業界NO.1

効率化 + 働きやすさ + やりがい

- ◆業務の標準化・高度化による付加価値創出に挑戦する。
  - ・ 時間的価値を生み出す I T 基盤構築
- ◆ワークライフインテグレーションを推進する施策で、多様な働き方を支援する。
  - ・ テレワーク、フレックスタイム制等の導入

## 【3か年の業績目標】



## 【3か年の業績目標】

(百万円)

	2019.12 (計画)	2020.12 (計画)	2021.12 (計画)
売上高	30,000	32,000	34,000
営業利益	1,400	1,600	2,000
営業利益率	4.7%	5.0%	5.9%
経常利益	1,450	1,640	2,040
当期純利益	1,000	1,100	1,400

## 【2021年12月期の達成目標】

**ROE (自己資本当期純利益率)**

▶ 10%以上

**注力分野及び新規事業領域の売上規模**

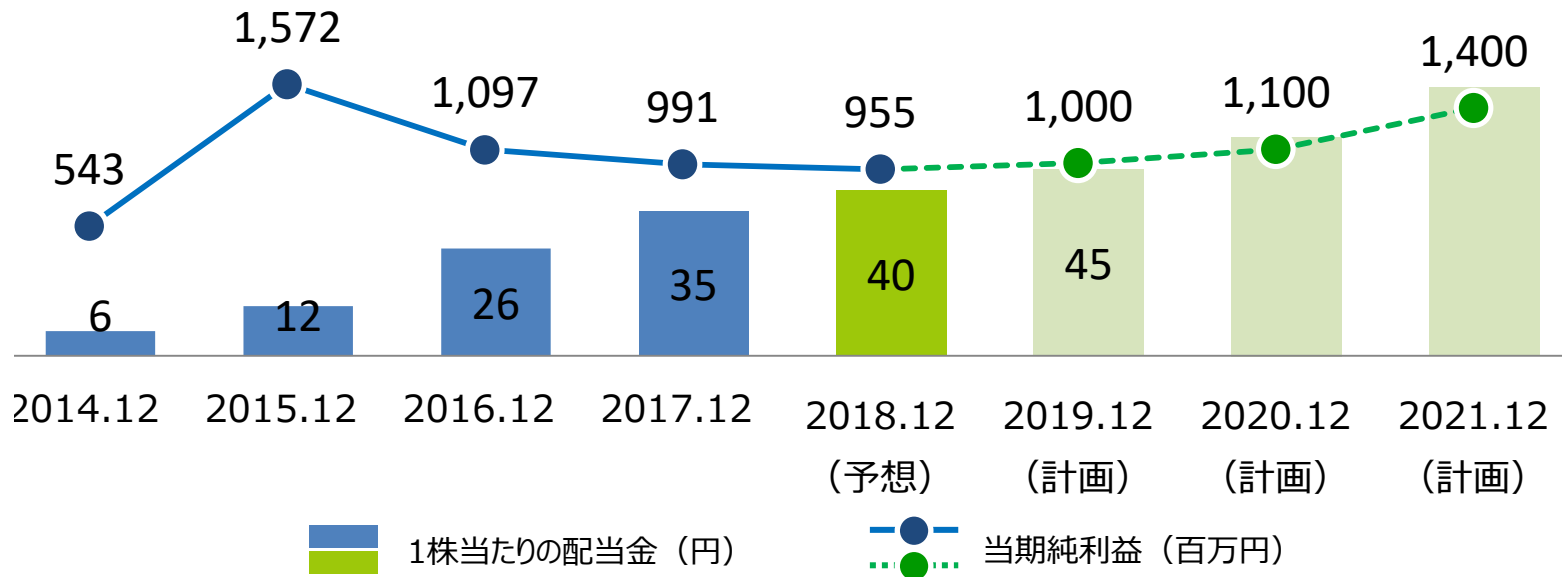
▶ グループ売上高構成比 10%超

**海外事業売上規模**

▶ グループ売上高 40億円超

財務体質や将来の事業拡大のために必要な内部留保とのバランスを図りながら、毎期の業績に応じた配当を行うことを基本方針としております。

中期経営計画の期間中は、**連結配当性向50%**を目安に配当額を決定することとし、更なる株主還元の拡充を目指します。



・当社は2016年10月5日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っておりますが、2014年の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、配当金を算出しています。

# Ⅲ 当期決算の状況 及び 来期の見通し

# 当期決算の状況

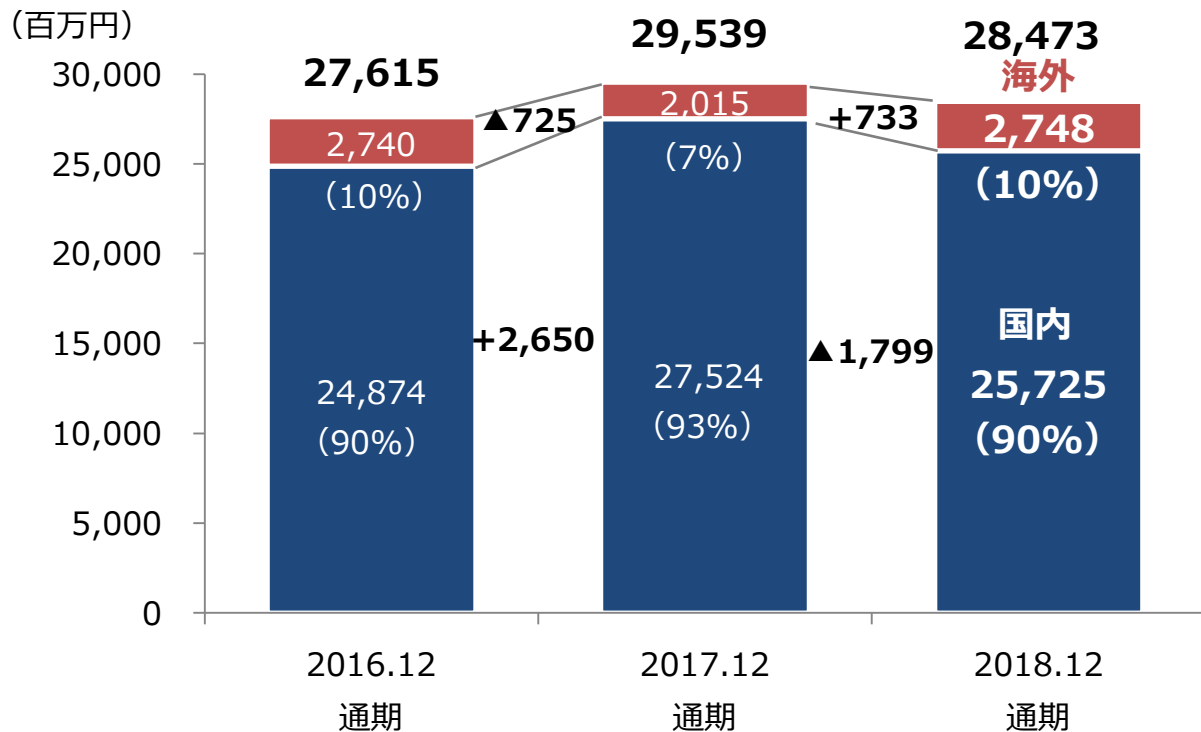


# 当期連結決算の状況（連結損益計算書）

海外売上が増加するも、国内低調により減収、また経費圧縮を行うも減益

(百万円)	2017.12		2018.12			
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	
売上高	29,539	100.0%	28,473	100.0%	▲1,066	▲3.6%
売上総利益	4,555	15.4%	4,293	15.0%	▲262	▲5.7%
販売費及び一般管理費	3,132	10.6%	3,023	10.6%	▲109	▲3.4%
営業利益	1,422	4.8%	1,269	4.4%	▲153	▲10.7%
経常利益	1,471	5.0%	1,339	4.7%	▲133	▲9.0%
税金等調整前当期純利益	1,494	5.0%	1,339	4.7%	▲155	▲10.3%
法人税等	503	1.6%	384	1.3%	▲119	▲23.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	991	3.4%	955	3.3%	▲36	▲3.6%

# 当期連結決算の状況（売上高：国内海外別） 株式会社 船場 決算説明会



**売上高**  
**前期比▲1,066百万円**

海外は顧客の新規出店により売上増となったが、国内は顧客の設備投資抑制等により、総額では減。

# 当期連結決算の状況（売上高：海外G各社）

(百万円)	2016.12	2017.12	2018.12
香港	240	243	83
台湾	861	517	1,119
シンガポール	439	378	290
上海	771	733	872
ベトナム	290	84	217
その他	139	60	167
合計	2,740	2,015	2,748

ご参考)

円換算レート（年平均）は、以下を使用しております。

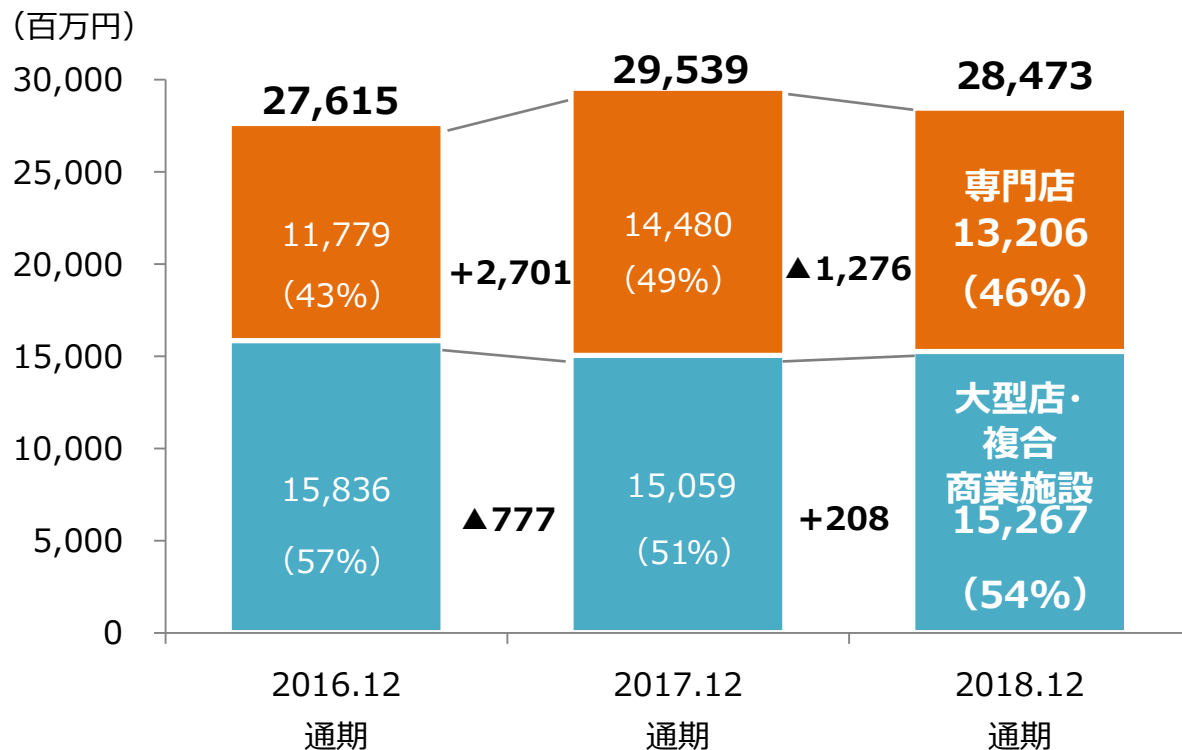
2017.12 :

HKD 14.39/TWD 3.68/SGD 81.25/  
CNY 16.62/VND 0.00492

2018.12 :

HKD 14.09/TWD 3.665/SGD 81.864/  
CNY 16.71/VND 0.0048333

1. 当社グループにおける法人別売上高は主として所在地の施工物件を対象にしておりますが、顧客等の状況により近隣国の物件を対象にする場合があります。
2. その他には日本国内で手掛ける海外売上及び連結間取引修正等を含んでおります。



## 売上高 前期比▲1,066百万円

従来からの顧客であったナショナルチェーンの出店減等による専門店分野の売上高減が大きく影響。

一方で大型店・複合商業施設の売上構成比は増加したものの、売上高は小幅な伸びとなった。

# 当期連結決算の状況（販管費・法人税）

(百万円)	2018.12	
	実績	前期比
売上高	28,473	▲1,066
売上総利益	4,293	▲262
販売費及び一般管理費	3,023	▲109
営業利益	1,269	▲153
経常利益	1,339	▲133
税金等調整前当期純利益	1,339	▲155
法人税等	384	▲119
親会社株主に帰属する当期純利益	955	▲36

## 販管費

**前期比▲109百万円**

前期は人員増に対応するためのオフィス移転増床の費用等の計上があったこと、今期には経費の圧縮を進めたことが要因。

## 法人税等

**前期比▲119百万円**

配当増額による留保金課税額の減少、および海外子会社の税効果計上等による。

# 当期連結決算の状況（連結貸借対照表）

健全経営を目指し、自己資本比率は向上

(百万円)	2017.12末		2018.12末			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	
<b>資産</b>	17,581	100.0%	17,666	100.0%	85	0.5%
<b>流動資産</b>	15,324	87.1%	15,375	87.0%	51	0.3%
<b>固定資産</b>	2,256	12.9%	2,291	13.0%	35	1.5%
<b>負債</b>	8,222	46.8%	7,973	45.1%	▲249	▲3.0%
<b>流動負債</b>	6,799	38.7%	6,527	36.9%	▲272	▲4.0%
<b>固定負債</b>	1,422	8.1%	1,445	8.2%	23	61.8%
<b>純資産</b>	9,359	53.2%	9,693	54.9%	334	3.5%
<b>負債・純資産合計</b>	17,581	100.0%	17,666	100.0%	85	0.5%

# 当期連結決算の状況（連結貸借対照表）

(百万円)	2018.12末	
	金額	前期比
<b>資産</b>	17,666	85
<b>流動資産</b>	15,375	51
<b>固定資産</b>	2,291	35
<b>負債</b>	7,973	▲249
<b>流動負債</b>	6,527	▲272
<b>固定負債</b>	1,445	23
<b>純資産</b>	9,693	334
<b>負債・純資産合計</b>	17,666	85

## 流動資産 前期比 +51

- ・現預金減 ▲1,128
- ・案件の進捗による売上債権増 +341
- ・余資運用による有価証券増 +1,100
- ・案件の進捗による棚卸資産減 ▲192
- ・その他の減 ▲70

## 流動負債 前期比▲272

- ・案件の進捗による仕入債務減 ▲322

## 純資産 前期比+334

- ・当期利益 +955
- ・剰余金配当 ▲345
- ・包括損益(退職債務等) ▲287

(百万円)	2017.12	2018.12	
	金額	金額	前期比
営業キャッシュフロー	1,446	626	▲820
投資キャッシュフロー	8	△702	▲710
財務キャッシュフロー	△294	△352	▲58
現金及び現金同等物 増減額	1,170	△460	
現金及び現金同等物 期末残高	7,719	7,097	▲622

## 営業キャッシュフロー 前期比▲820

・12月度の売上が、前期比で増加したことによる。

## 投資キャッシュフロー 前期比▲710

・短期余資運用によるもの。 ▲600  
・業務効率化のためのIT投資 ▲54

## 財務キャッシュフロー 前期比 ▲58

・一株当たり配当を26円から35円に増配したことによる。

現金及び現金同等物は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期的な投資からなっております。



# 来期の見通し

売上高は、上期と下期で同等のボリュームを見込む

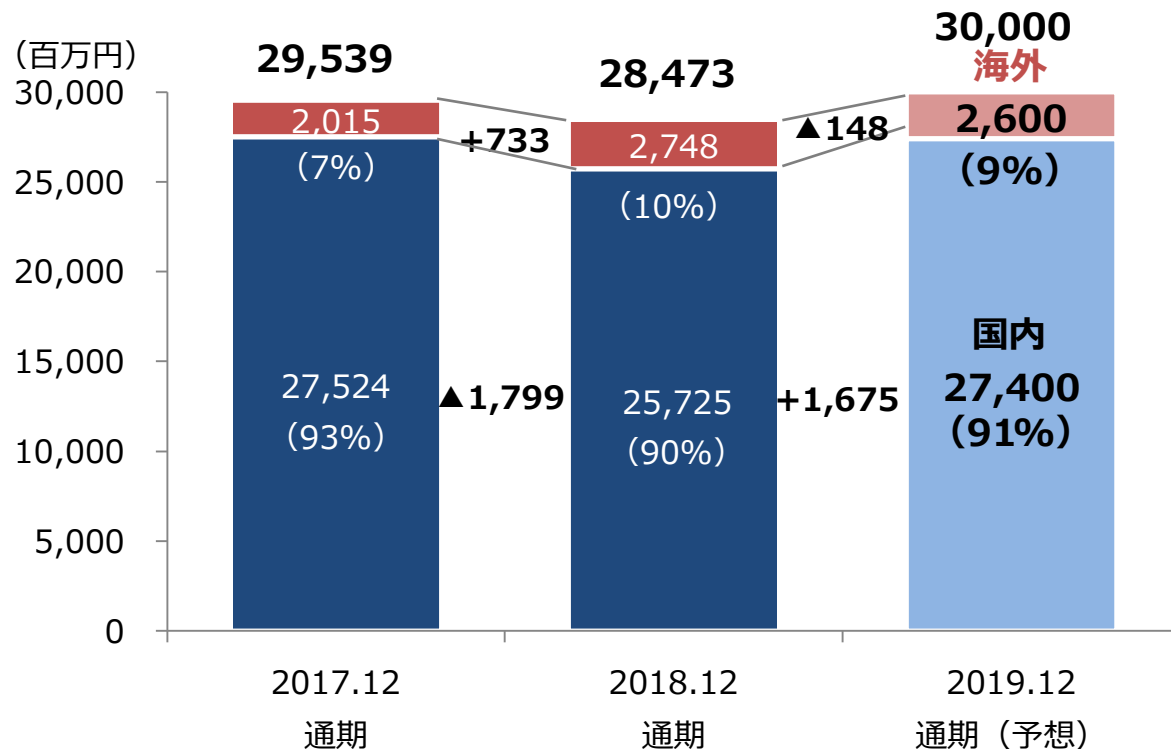
利益は、海外を中心に高利益率の企画・設計案件他が下期に見込まれ、下期偏重

2018.12			
(百万円)	上期	下期	通期
売上高	14,040	14,433	28,473
売上総利益	2,201	2,092	4,293
営業利益	620	649	1,269
親会社株主に帰属する当期純利益	405	550	955

2019.12 予想			
(百万円)	上期	下期	通期
売上高	15,000	15,000	30,000
売上総利益	2,233	2,295	4,528
営業利益	670	730	1,400
親会社株主に帰属する当期純利益	480	520	1,000

# 来期の見通し（売上高：国内海外別）

大型プロジェクトの開業もあり、海外の売上構成比は当期と同程度となる見込み



(百万円)	2019.12 予想
香港	120
台湾	525
シンガポール	419
上海	886
ベトナム	550
その他	100
合計	2,600

ご参考) 円換算レート

2019.12 :

HKD 14.00 / TWD 3.50 / SGD 85.00 /  
CNY 17.00 / VND 0.0052

# サクセスパートナー

私たちは商環境の創造を通じて  
社会の繁栄に貢献します。

## 【ご注意事項】

本資料は、将来に関する見通しや計画に基づく予測が含まれております。これらの予測及び見通しは、リスク及び不可実性を内包するものであり、その実現を保証するものではありません。実際の業績等は、様々な要因により記載の予測と異なる可能性があります。

## 【お問い合わせ先】

株式会社 船場 経営企画部

T E L : 03-6865-8195

E-mail : ir@semba1008.co.jp